

(地Ⅲ104F)
平成29年8月18日

都道府県医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
釜 范 敏

ヨーロッパ地域における麻疹患者報告数の増加に伴う海外渡航者への注意喚起について

近年、ヨーロッパ地域において麻疹報告数の増加が確認されており、特にイタリアとルーマニアにおける報告数の増加が顕著であることがE C D C（欧州疾病対策センター）から発表されたことを踏まえ、今般、厚生労働省により海外渡航者への注意喚起のためのリーフレットが作成され、別添の周知方依頼の事務連絡が本会宛にありました。

本事務連絡では、同リーフレットで海外渡航者に対して周知を行っている下記2点について、医師会員に対しても周知するよう求めています。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会、関係医療機関等に対する周知協力方について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

記

1. 麻疹にかかったことが明らかでない場合、渡航前には、麻疹の予防接種歴を母子手帳などで確認し※、2回接種していない場合は予防接種を検討すること（※麻疹の既往歴や予防接種歴が不明の場合は抗体検査を検討すること）
2. 帰国後には、2週間程度は麻疹発症の可能性も考慮して健康状態に注意すること



事務連絡
平成 29 年 8 月 16 日

公益社団法人 日本医師会 御中

健康局結核感染症課

ヨーロッパ地域における麻しん患者報告数の増加に伴う海外渡航者への注意喚起について
(協力依頼)

近年、ヨーロッパ地域において麻しん報告数の増加が確認されていますが、今般、特にイタリアとルーマニアにおける報告数の増加が顕著であることが、ECDC（欧州疾病対策センター）から発表されました（※1）。

※1 ECDC 平成 29 年第 32 週感染症状況報告より

○イタリアの状況

・本年 8 月 4 日の時点で 4,087 名の麻しん患者が報告されている（昨年は年間 861 名）。

○ルーマニアの状況

・本年 8 月 4 日の時点で 6,486 名の麻しん患者が報告されている（昨年は年間 1,969 名）。

これらの状況を踏まえ、海外渡航者への注意喚起のため、別添のとおりリーフレットを作成いたしました。

海外渡航者に対して、以下の 2 点について周知しているところですが、貴会会員へも、周知いただきますようお願いいたします。

1. 麻しんにかかったことが明らかでない場合、渡航前には、麻しんの予防接種歴を母子手帳などで確認し（※2）、2 回接種していない場合は予防接種を検討すること
- ※2 麻しんの既往歴や予防接種歴が不明の場合は抗体検査を検討すること
2. 帰国後には、2 週間程度は麻しん発症の可能性も考慮して健康状態に注意すること

別添 1：麻しんリーフレット（出国前の注意事項）

別添 2：麻しんリーフレット（帰国後の注意事項）

参考

- ・厚生労働省 夏休みにおける海外での感染症予防について

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/travel-kansenshou.html

- ・渡航者向けの麻しんの予防啓発活動に「マジンガー Z」を起用

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000172672.html>

イタリア・ルーマニアを含むヨーロッパ地域で

ま

「麻しん（はしか）」の 大規模な流行が起きています。

海外に行く方で、麻しん（はしか）にかかったことが明らかでない場合

海外に行く前に

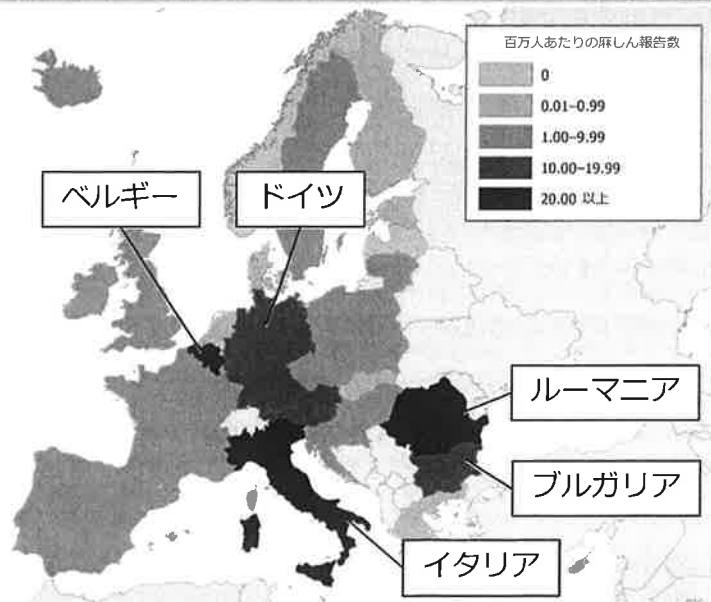
- ☒ 麻しんの予防接種歴を母子手帳などで確認しましょう
- ☒ 2回接種していない方は、予防接種を検討してください
(麻しんにかかったかどうかや予防接種歴が不明の場合は抗体検査を検討してください)

麻しん報告数上位10の国々
(平成29年1月～平成29年6月)

国名	報告数
インド	38596
ナイジェリア	6802
中国	4347
イタリア	3660
パキスタン	3029
バングラディシュ	2913
インドネシア	2242
コンゴ民主共和国	2082
ルーマニア	1844
タイ	1352

出典：WHO(世界保健機関)麻しん報告数
(平成29年8月現在;一部改変)

ヨーロッパ地域における麻しんの流行状況
(平成28年6月～平成29年5月)



出典：ECDC(欧州疾病対策センター) 麻しん報告率
(平成29年5月現在;一部改変)

詳しくは
こちら

🔍 麻しんについて 厚労省 検索

厚生労働省

麻しんについて ▶



イタリア・ルーマニアを含むヨーロッパ地域で

ま

「麻しん（はしか）」の

大規模な流行が起きています。

海外に行く方で、麻しん（はしか）にかかったことが明らかでない場合

帰国した後に

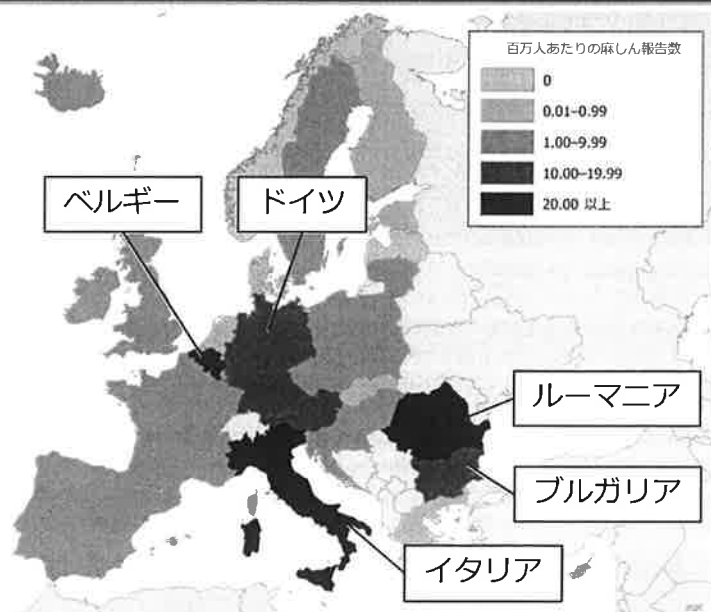
- ☒ 帰国後2週間程度は健康状態（特に、高い熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状）に注意しましょう

麻しん報告数上位10の国々
(平成29年1月～平成29年6月)

国名	報告数
インド	38596
ナイジェリア	6802
中国	4347
イタリア	3660
パキスタン	3029
バングラディシュ	2913
インドネシア	2242
コンゴ民主共和国	2082
ルーマニア	1844
タイ	1352

出典：WHO(世界保健機関)麻しん報告数
(平成29年8月現在;一部改変)

ヨーロッパ地域における麻しんの流行状況
(平成28年6月～平成29年5月)



出典：ECDC(欧州疾病対策センター) 麻しん報告率
(平成29年5月現在;一部改変)

詳しくは
こちら

🔍 麻しんについて 厚労省 検索

厚生労働省

麻しんについて ▶

